(様式第3号)

企業・団体名(戸田建設株式会社長野営業所)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.9.5変更】

カ						ュなSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目										
ートテ	- 扌	丰該		取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2 3	4 5 6		8 9	10	11 12		14 15			
ゴリ		当		レベル	併せて記載してください。)	2 mm 8 mmm - w/4	4 miles	7	**************************************	10 ±±±±*** (⊕)	11 ==== × 12 ==== × 12 ====	B::::::	M 100 100 15 100 100 100 100 100 100 100	16 131111	· ************************************	
1			【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整 備し、差別がないことを確認している	基本	・継続的な研修の実施 ・ダイバーシティ推進部を設定かつ相談窓口を設置 し、課題があれば早期に対応できるしくみづくりに取り組んでいる		5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7		
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	基本	・継続的な研修の実施 ・複数の相談窓口を設置し、課題があれば早期に対応 できるしくみづくりに取り組んでいる		5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					16.1		
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・VUCAの時代に適応できるよう人財育成に取り組み、ワークスタイル変革、フレックスタイム制のコアタイムを廃止				8.5 8.8							
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・戸田建設グループ企業行動規範において、人権・個人の尊重、差別の禁止を掲げ、社員の意識啓発に取り組んでいる		4.4		8.7 8.8	10.2 10.3						
⁵ 人			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社長SOE基本方針の最上位に「安全は中心となる価値であることを認識し、労働環境整備のフロントローディングを推進する」と掲げている	3			8							
· 分 6 働	,		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・継続的な講習会の実施 ・ストレスチェックの実施、相談窓口を設置し、課題が あれば早期に対応できるしくみづくりに取り組んでいる	3										
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	基本	・ダイバーシティ推進部の設置 ・多様性への理解を深める研修等を継続的に実施 ・えるぼし認定を維持(2018年~)		5.1 5.5		8.5	10.2 10.3						
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務職種レベルに応じた研修体系を整備し実施 ・資格取得報奨金、受験料などの援助、学費支援金 などを実施		4 5.5		8 9							
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	·【予定】労働者派遣法の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行う ・会社方針に沿った対応をしている		5.5		8.5	10.2 10.3						
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ	・健康経営優良法人「ホワイト500」4年連続認定 (2019年~)	3			8							
11			【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・建物廃棄物の3R活動を推進し、建物廃棄物の削減 と最終処分率の低減に努めている						11.6 12		14.1			
12 環	į		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・CO2排出量データに対する公平性、確実性、および透明性を確保するために、(株)サステナビリティ会計事務所による第三者検証を受けている			7.3				13				
境 13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・EMSによる環境保全活動を継続、改善・2050年のC02削減目標を設定			7.2 7.3			12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる	基本	・有害物質対策に向けた技術開発と、そのリスク管理 の徹底を図っている	3.9	6.3				11.6 12.4					

	カ				B (4.45.4; 75.40)											ト)関連項目							
	テゴ	非該当		取組							7			10				16 17					
	ij	∄		レベル	併せて記載してください。)	1 CO. Brêtrê	····	4 Harris	5 mm	₫	7 ::::-::::::::::::::::::::::::::::::::	8 #### ##	9 ::::::::	10 cctc:** ♦	11 :==== 12 :==	13 ::::::	14 101***	16 💥					
15	•		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・「戸田建設 生物多様性行動指針」を策定し、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた活動を推進している					6.6							15						
16			【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・3R活動に積極的に取り組むことで環境への負荷の低減、循環型社会の形成を目指している・2020年度リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞										13		14.1						
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ	・オフィスと工事現場の双方で節水を徹底している ・排出する際は、法令基準以下になるように水質を浄 化し、河川や海に戻している					6.4 6.6													
18	環境		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ	·ISO14001取得(1999年) ·エコ·ファースト企業認定(2010年) ·CDP A List 企業連続認定(2018年~)			3.9		6	7				12	13.3	14 15						
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ	ホームページ等で環境情報を公開している・C02排出削減目標がSBT認定(2017年)・TCFD提言への賛同を表明(2019年)										12.6								
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ	・RE100イニシアチブに加盟(2019年) ・2050年までに100%再生可能エネルギー電力での 事業運営を目指す取り組みを推進している						7.2					13							
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・グリーン調達の実施、環境配慮施工の推進 ・顧客へ環境配慮型の建設提案に取り組んでいる										12.2	13	14 15						
22			【汚職・贈収賄防止】・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む企業行動規範を制定 ・継続的な研修の実施、コンプライアンス・カードを全職 員が携帯													16 16.5					
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む企業行動規範を制定している ・継続的な研修の実施、コンプライアンス・カードを全職 員が携帯													16					
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・専門部署を設け、知的財産保護に取り組んでいる							8.2 8.3	9										
25	公正な事業		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護方針を定めて公表し体制を整備している ・継続的な研修を行い情報管理ルールを周知徹底している													16					
26	業慣行		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ	・専門部署が管理している													16					
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への 悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)につい て認識を共有し、共に取り組んでいる		・「パートナーシップ活動計画」を立て、協力会社とともに技術、安全衛生、品質、環境、生産性の向上とコンプライアンス遵守に関する活動を展開している				5			8		10	12	13	14 15	16 17					
28			【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3				8	9	10				17					
		WE7	ニートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら、https://www.hiz-partnership	in/	<u>'</u>		,	·															

<u>※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.jp/</u>

	-L-+		_{取組} 具体的な取組	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 1												T 4 =			
	非該当	^多 チェック項目	取組レベル	ロー (旧かじの取得到証がまねば		2	3	4			7		9	10					
	=		0.10	併せて記載してください。)	\$100. \$1884		3 mm. -w/♣	4 555	₫	<u>A</u>	7 instrument	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	&	4€>	A 14.	13 :::::	15 11111	16 ******	***
9		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・地震災害に備えてさまざまな技術を活かし、建設物の安心・安全の向上に取り組んでる・24時間365日受付のコールセンターを設置			3.9								12.	4			
製品・サ-		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・QMSによる品質保証活動を継続・改善・ISO9001を取得(1995年)									9						
1 Z		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレン ジ	·環境保全計画の提案 ·環境影響評価シートによる点数評価						6					12	13	14 15		
2		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ	・国内初となる浮体式洋上風力発電設備を実用化し 商用運転を継続している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 12	13	14 15	16	17
3		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・環境管理システムの運用による作業所の環境関連 活動の効率化				4					9		11 12		14 15		17
地域貢献.		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・台風19号で大きな被害が出た県内被災者への義援 金1千万円を長野県へ贈呈				4							11		14 15		17
5		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレン ジ	・県内協力会社を優先採用し、地域の資材を積極的に採用								8	9		11 12	13			
6		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・小冊子・カードを全職員に配布し携帯している								8	9						17
7		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築して いる	基本	・継続的な研修、意識調査アンケートの実施、全職員に小冊子・カードを配布し携帯している ・内部通報制度「企業倫理ヘルプライン」の運用														16	
8		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	基本	・社長のもとにCSR担当執行役員およびCSR連絡会議を置き、CSRに関する方針の策定や活動の承認および進捗管理などを行っている														16	
9 組織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・ステークホルダーとのコミュニケーションを通して、多様化・複雑化する建設物へのニーズや期待を把握し、 適切なIR活動を実施している														16	17
体 制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクの評価及び対策を「リスク抽出リスト」にまとめ、 PDCAサイクルを回すことで運用を図っている														16	
1		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づ き企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでい	チャレンジ	・CSR方針の策定、推進体制を整備している ・CSR活動の浸透促進のため社員への意識調査アン ケートを実施している														16	
2		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・大規模地震災害におけるBCP(事業継続計画)を策定しその実効性を検証するために毎年総合震災訓練を実施・レジリエンス認証取得(2017年)、現在はゴールドロゴ									9		11	13 13.1		16	
3	_	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・経営陣の課題として扱っている								8	9						17

独自に設定したSDGsに資する取組

8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

1 2

具体的な取組

3

4 5 6

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載 いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGA NOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定